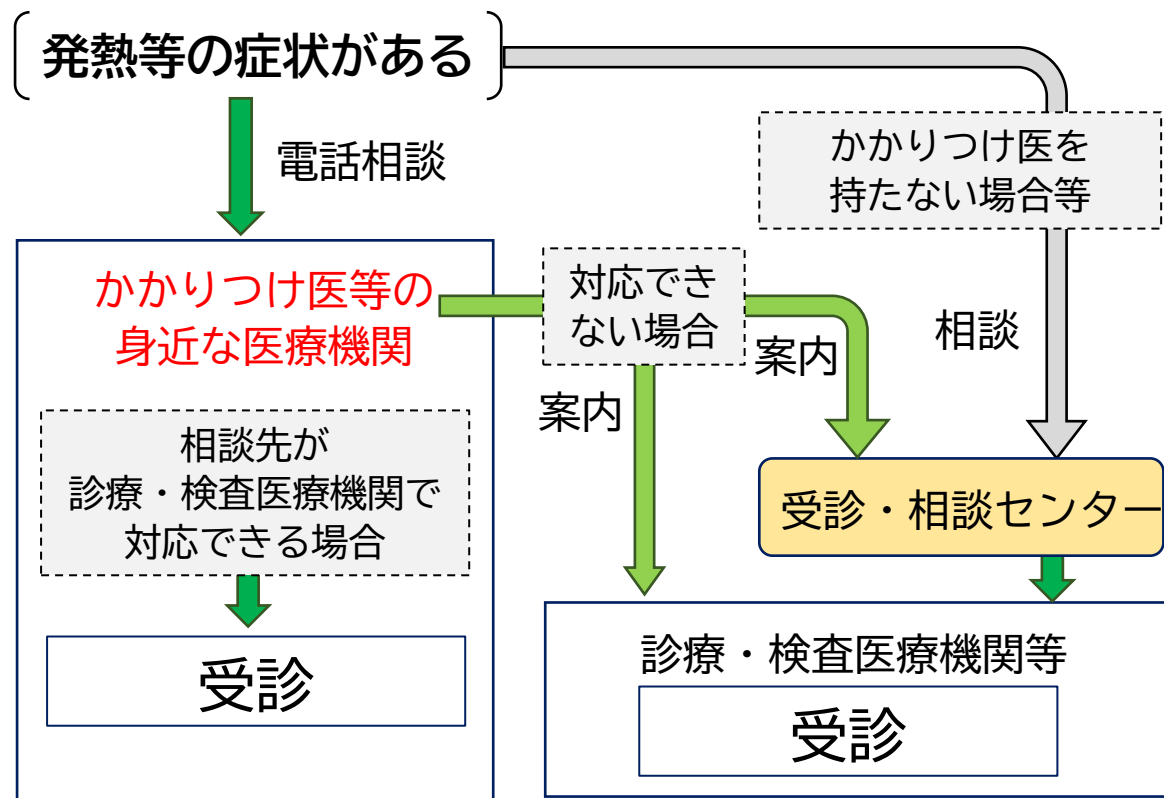


新たな受診・相談体制の現状について

1 診療・検査医療機関の概要

症状では識別が難しい、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスとの同時流行に備え、発熱患者等に対し、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの両方の診療と検査を行う医療機関として、県が「診療・検査医療機関」を指定している。



2 指定状況（10月28日時点）

圏域等	指定数
岐阜市	110
岐阜圏域（岐阜市以外）	105
西濃圏域	57
中濃圏域	98
東濃圏域	51
飛騨圏域	40
合計	461

診療・検査医療機関の指定状況(10月28日時点)

圏域名	市町村名	指定状況
	岐阜市	
岐阜圏域	105	
	羽島市	18
	各務原市	52
	山県市	7
	瑞穂市	7
	本巣市	3
	岐南町	7
	笠松町	9
	北方町	2
西濃圏域	57	
	大垣市	30
	海津市	5
	養老町	2
	垂井町	1
	関ヶ原町	2
	神戸町	3
	輪之内町	0
	安八町	2
	揖斐川町	7
	大野町	1
	池田町	4

圏域名	市町村名	指定状況
	中濃圏域	
	関市	30
	美濃市	7
	郡上市	14
	美濃加茂市	17
	可児市	21
	坂祝町	1
	富加町	0
	川辺町	2
	七宗町	1
	八百津町	2
	白川町	1
	東白川村	1
	御嵩町	1
東濃圏域	51	
	多治見市	23
	瑞浪市	4
	土岐市	4
	中津川市	13
	恵那市	7
飛騨圏域	40	
	高山市	25
	飛騨市	8
	下呂市	5
	白川村	2
総計	461	

新型コロナウイルス感染症 季節性インフルエンザ

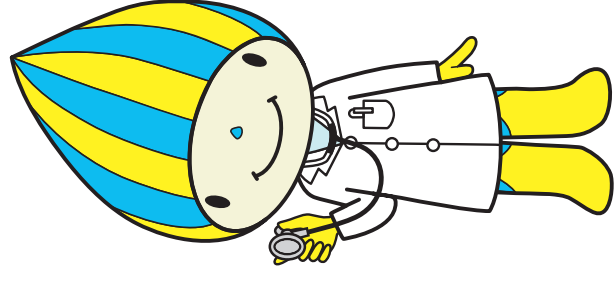
の同時流行に備えた新たな相談・受診体制スタート

新型コロナウイルスとインフルエンザは、症状（発熱、せき、だるさなど）が似ているため、両方を相談・受診できる体制を整備しました。

- ① まずはかかりつけ医に電話相談。
- ② かかりつけ医を持たない場合や、相談先に迷う場合等は「受診・相談センター」へ電話相談。（平日9時から17時以外は電話呼び出しです。）

受診・相談センター	所管区域	電話番号
岐阜市保健所	岐阜市	TEL.058-252-0393
岐阜保健所	羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡	TEL.058-380-3004
西濃保健所	大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡	TEL.0584-73-1111 (内線273)
関保健所	関市、美濃市、郡上市	TEL.0575-33-4011 (内線360)
可茂保健所	美濃加茂市、可児市、加茂郡、可児郡	TEL.0574-25-3111 (内線358)
東濃保健所	多治見市、瑞浪市、土岐市	TEL.0572-23-1111 (内線361)
恵那保健所	中津川市、恵那市	TEL.0573-26-1111 (内線258)
飛騨保健所	高山市、飛騨市、下呂市、大野郡	TEL.0577-33-1111 (内線309)

③ 相談先の案内に従い、受診。



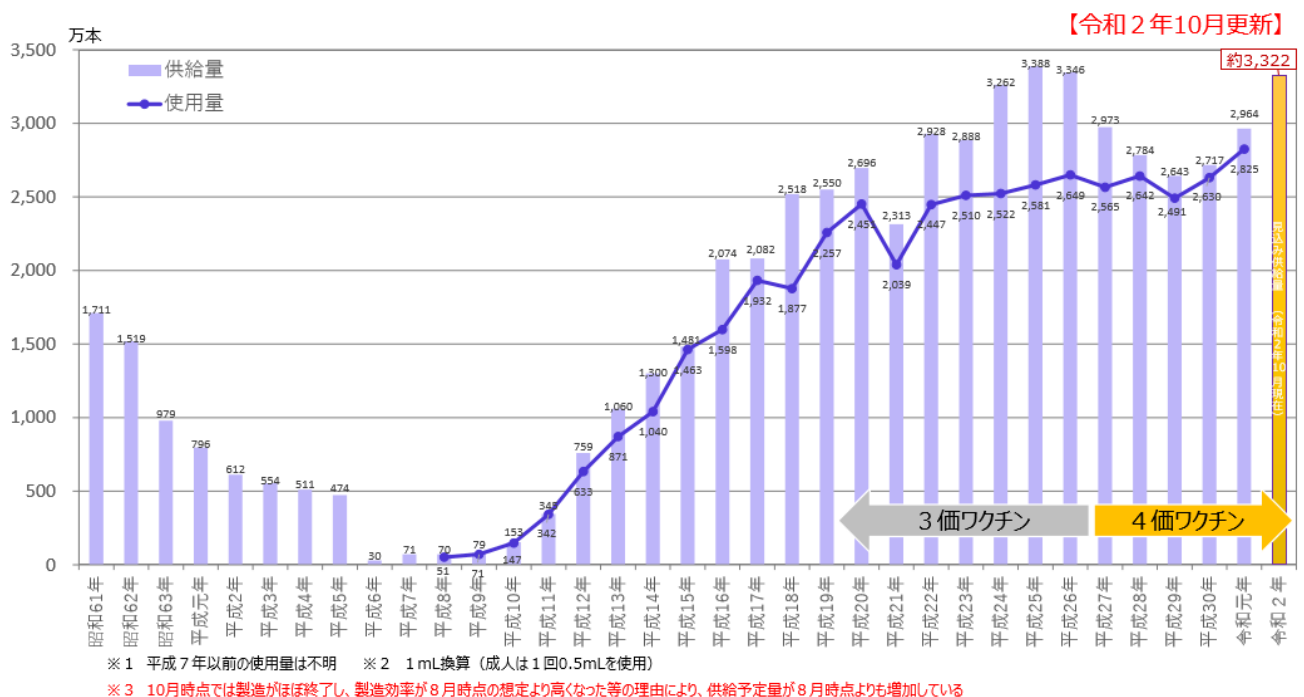
相談・受診方法について
詳しくはこちら



インフルエンザワクチンの供給状況について

1 ワクチンの製造予定量について

今冬のインフルエンザシーズンのワクチンの製造予定量は、令和2年10月時点で、約3,322万本（1mLを1本に換算）の見込み。これは、昨年度の使用量よりも約12%多いもの。

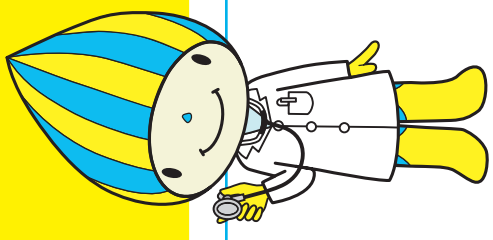


2 ワクチンの県内供給本数目安について

県内供給量	102万人分
-------	--------

- ※ 厚生労働省が、高齢者並び医療従事者、基礎疾患を有する方妊婦及び小児（6か月～小学校2年生）の推計人口や昨年度の県内供給実績等を踏まえ、都道府県別に設定。
- ※ ワクチン需要、卸売販業者による地域・営業所の在庫融通等により、実際の供給本数は変動しうるため、最低供給本数を示すものではなく、10月はじめから全ての供給が始まるわけではない。

新型コロナウイルス・季節性インフルエンザ この冬はダブルで警戒!



- ◇ 基本対策を徹底 「マスクの着用」「丁寧な手洗い」「人との距離確保」
- ◇ 高感染リスクに注意! 「マスクなしでの会話」「飲酒を伴う懇親会」
「大人数や深夜におよぶ飲食」

季節性インフルエンザのワクチン接種は10月1日から開始しています。

10月1日(木)～

65歳以上の方(定期接種対象者)

※このほか、60歳から65歳未満の方で
慢性高度心臓・腎臓・呼吸器機能不全の方など

接種希望の以下の方はお早目に

- 医療従事者
- 妊婦
- 基礎疾患を有する方
- 生後6か月から小学校2年生

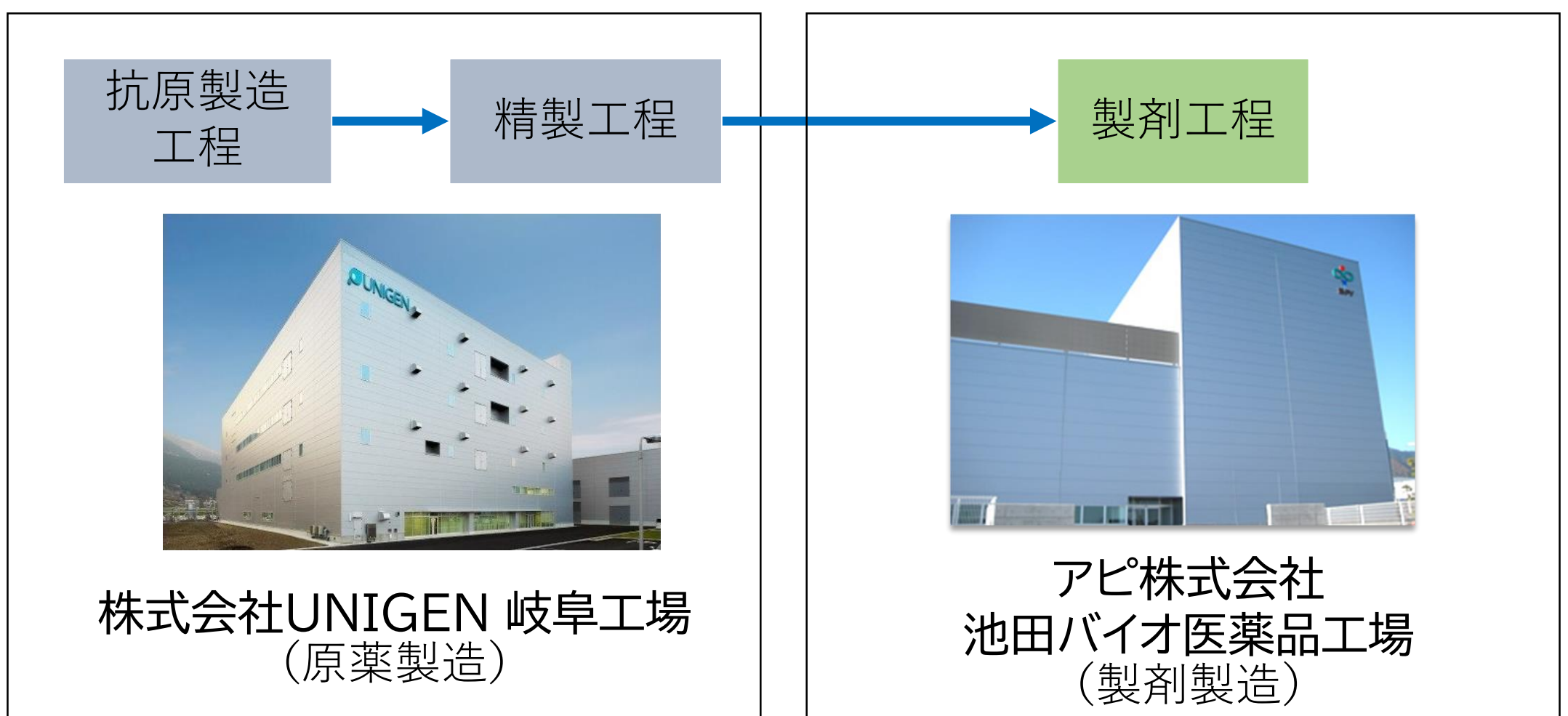
※上記以外の方も接種できます

10月26日(月)～

- 接種される方はあらかじめ医療機関に**お電話での予約**を。
- 接種の開始日は、お住まいの市町村で異なり**ますのでご確認ください。
- インフルエンザワクチンは副反応が生じる場合がありますので、医師と相談の上、接種してください。

新型コロナウイルス感染症に対する ワクチンの実用化に向けた取り組みについて

- 塩野義製薬は、国立感染症研究所、UMNファーマと連携し、ウイルスのタンパク質(抗原)を遺伝子組み換え技術で作成し人に投与する「組換えタンパクワクチン」の研究開発を推進。
- 国内で唯一、「組換えタンパクワクチン」の製造実績を有する県内企業、アピ株式会社(本社:岐阜市)及び、そのグループ会社である株式会社UNIGEN(本社:揖斐郡池田町)と3社共同で、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン生産の供給体制を構築。
- 塩野義製薬は、池田町にある世界最大規模の大型培養施設を有するワクチン製造工場を利用し、2020年度に1,000万人分、2021年度中に3,000万人分のワクチン供給を目指す。



※ 工場写真:企業ホームページによる

水際対策の現状について

1 国際的な人の往来再開

(1) 観光目的の短期滞在を除く在留資格（※1）を持つ外国人

- 10月1日から、帰国後2週間の自宅待機などの防疫措置を確約できる受入企業・団体がいることを条件に、全ての国・地域からの新規入国が再開。（※2）

（※1）介護、特定技能、技能実習、特定活動、留学等の在留資格。

（※2）入国者数は最大1日1,000人程度に限定。

(2) ビジネス関係の在留資格を持つ外国人や、海外出張から帰国・再入国した日本人

- 自宅等や職場のみを行動範囲とすること、公共交通機関を使わないことを条件に、帰国後2週間の自宅待機措置を免除した上で、全ての国・地域からの新規入国を許可することを検討。（※3）

（※3）先行して出入国制限の緩和を交渉している16の国と地域については、別途、最大1日1,600人程度の入国枠を設定。（ベトナム、タイ、豪州、ニュージーランド、カンボジア、シンガポール、韓国、中国、香港、マカオ、ブルネイ、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス、台湾）

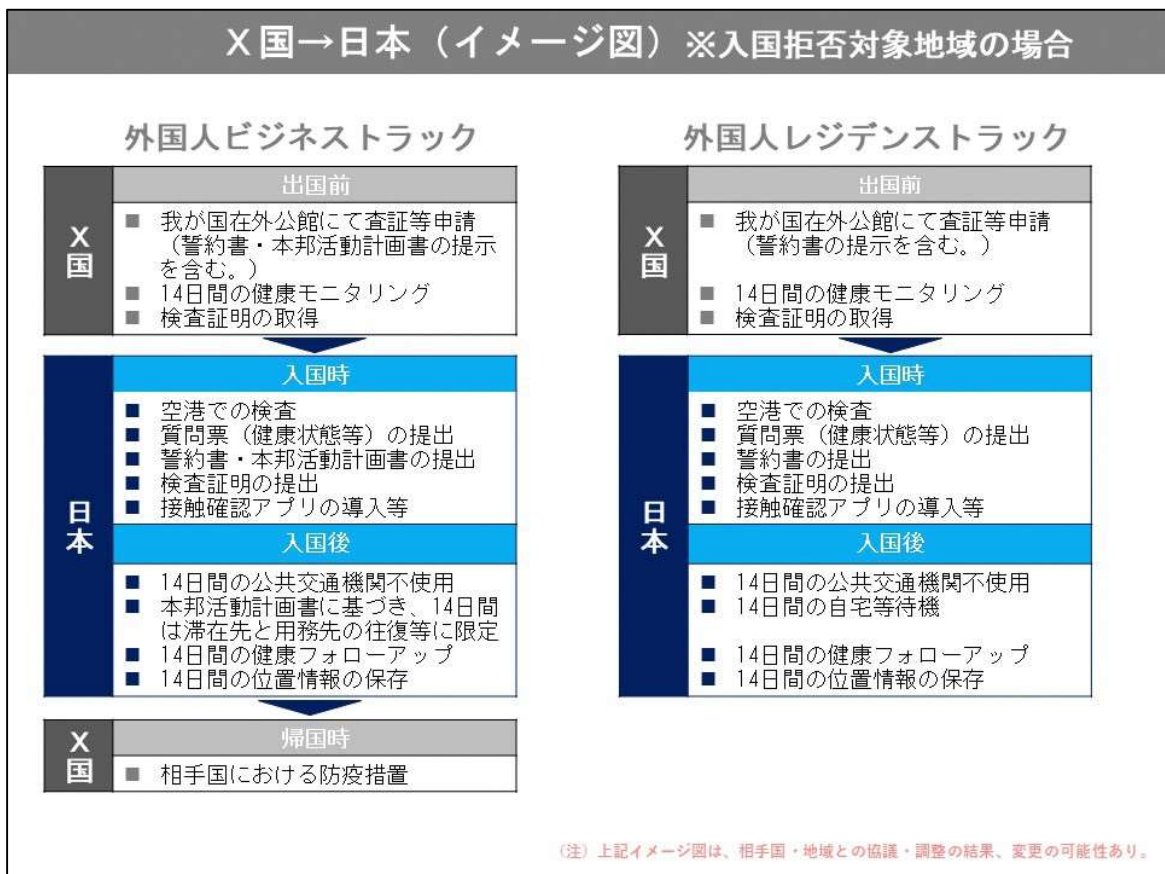
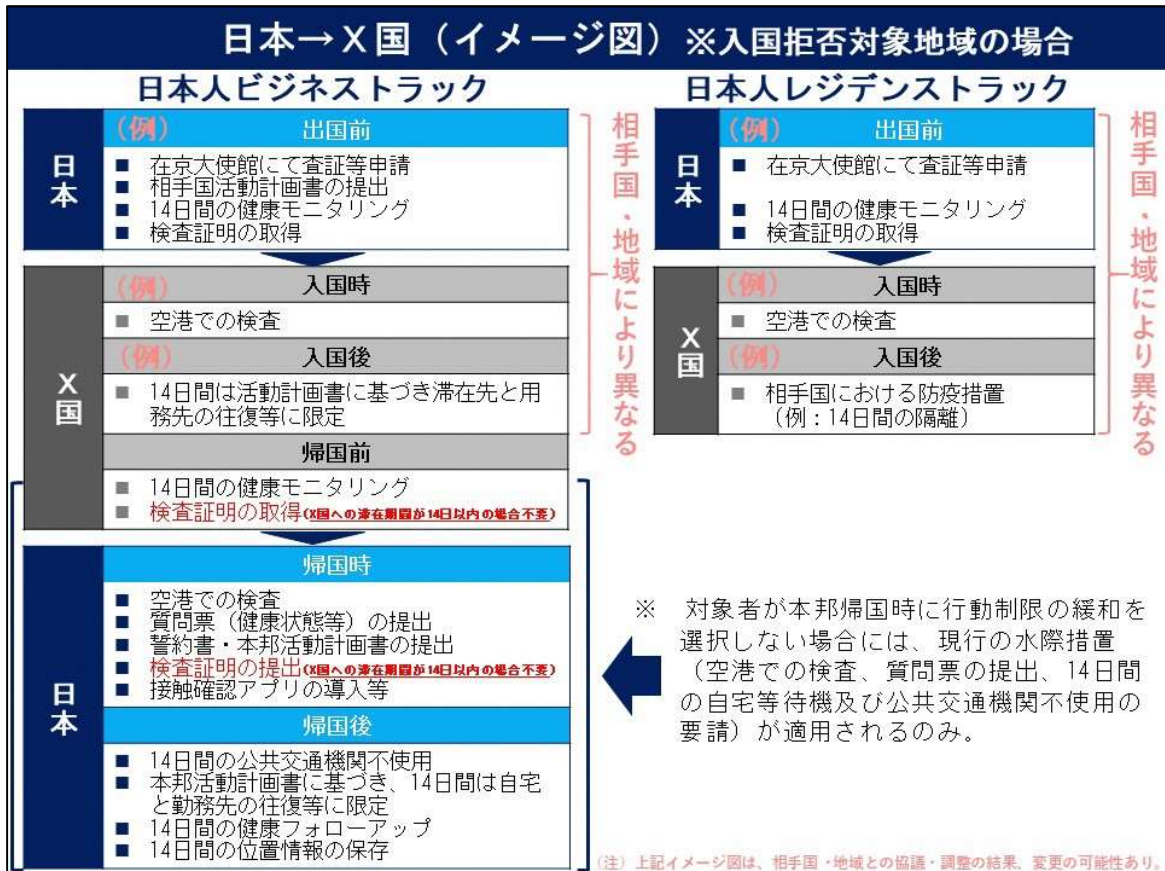
2. 空港の検査能力

- 3空港の検疫体制は9月に拡充され、合計1万人超。
（成田：4,700人 羽田：3,800人 関西国際：1,800人）
- 中部国際、新千歳、福岡を加えて、合計2万人に拡充される見通し（拡充時期は未定）。
- （参考）10月12日から、中部国際空港で藤田医科大学3病院におけるPCR検査の陰性証明書が受取可能となった。

(参考) 外務省「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置」(9/30)

(本邦入国／帰国の際に必要な手続・書類等について)

(入国拒否対象地域に指定されている国・地域(感染症危険情報レベル3))



(参考) 外務省「国際的な人の往来再開に向けた段階的措置」(9/30)

(本邦入国/帰国の際に必要な手続・書類等について)

(入国拒否対象地域に指定されていない国・地域(感染症危険情報レベル2))

